

# 議会報告会・意見交換会を開催

市民の皆さんのご意見を生かします



市議会では、4月21日に三田市役所6階委員会室において議会報告会・意見交換会を開催し、23名が参加されました。当日は、議員がプロジェクターを使って、令和6年度予算の内容や審査内容、市民の皆さんからいただいたご意見・ご提案について、議会としての見解を説明し、参加者の皆さんと意見交換を行いました。意見交換会でいただいたご意見のうち、一部をご紹介します。

4月21日(日)

= 参加者 = 議員

10時～11時30分

【出席議員】(班長) 松岡信生 (副班長・司会) 小杉崇浩  
今北義明、北本節代、関口正人、肥後淳三、木村雅人



テーマ

人口は兵庫県でもマイナス。対策しないと減る一方だが、ニュータウンなど一戸建てが多く、増やしようがないのではないか。

若い人が三田に残らないことが大きな問題であり、若い人をどう残すか、今いる人に住み続けてもらう政策が必要で、今後も財政事情を勘案しながらできることを考え直す時期と考える。議会もどう人口減少を食い止めるか考えなければならない。今後も減少するのは確実で、空き家の活用等の政策が求められる。

13時～14時30分

【出席議員】(班長) 福田秀章 (副班長・司会) 林政徳  
榎田充、長尾明憲、大西雅子、中田哲、井上昭吾



テーマ

ぼう大なデータが流通する現代社会はリスク管理を重点的にしないと危険である。ICTリテラシー教育を学校教育にもっと取り入れられないか。

消費者教育やネットリテラシー教育は大切で、今後学校のカリキュラムの中で重要になると考えるが、家庭でも使用ルールを話し合う等、リスク管理に取り組んでいただきたい。議会としても教育委員会に対してICTリテラシー教育の強化を要望していく。

説明

ネットリテラシー：インターネットを正しく使いこなすための知識や能力

15時30分～17時

【出席議員】(班長) 佐貫尚子 (副班長・司会) 幸田安司  
厚地弘行、美藤和広、福田佳則、水元サユミ、福本愛



テーマ

電池の収集場所について、改善は考えられているか。

議会からも分別や収集場所の課題を訴えている。市民センター、電気店等電池の種類により回収場所が違うことや、持っていくことが難しい方もいることを踏まえ、今後、所管常任委員としても研究していく。

特集

## 三田市高校生議会



地域に愛着や関心を持ち、まちづくりに参加する意欲を高めるとともに、将来にわたって三田市に住み続けたいと思えるまちづくりに生かすことを目的に、1月28日に高校生議会が開催されました。市内7校から13名の高校生が参加し、市政に対する質問・提案を行いました。

どんな質問をしたの？

議長

(前半) 三田西陵高校 古瀬 明日桜さん  
(後半) 三田学園高校 谷口 聖真さん



学校名・議員名	質問・提案事項
ひまわり特別支援学校 西川 晴輝さん	誰もが安心して、自分が行きたい場所へ移動し、活動ができるまち三田になるように
有馬高校 太田 優花さん	生徒間のいじめが原因で学校に行けない人を減らすにはどうしたらよいか
三田祥雲館高校 田中 舜雅さん	三田市の人口減少問題について
三田西陵高校 中田 琴絵さん	保育士を増やすためにできることについて
三田学園高校 廣瀬 和翔さん	高校生は三田市民病院統合に興味や関心を持っているの？
クラーク記念国際高校 入江 航生さん	三田市のSNS広報について
北摂三田高校 奥山 もにかさん	高校生の居場所になる環境について
三田祥雲館高校 脇尾 弥可子さん	文化に関する施策について
有馬高校 佐々木 瑠璃さん	LGBTQに関する教育環境について
三田西陵高校 古瀬 伊吹さん	三田市における医療を必要としている交通弱者向け交通システムについて
三田学園高校 浦田 景太郎さん	三田から世界へ～三田市から世界で活躍できる人材の育成～

高校生議会の詳細は、右記二次元コードからご覧いただけます。



高校生議員の皆さんに聞きました

立候補した理由

- 探求授業での研究成果を発表できるチャンスだから
- 自分の考えを評価してもらえる貴重な機会だから
- 昨年の先輩の事業提案を引き継ぎ、進化させたいと思った
- 同年代の参加者と交流し、刺激を受けたかった など

高校生議会を終えた感想

- 多様な意見に触れ、視野が広がった
- 新たな人脈ができた
- 市政に興味をもった
- 答弁を受け、自分の考えについての課題が明確になったことで精度向上につながった
- 理想を実現に近づけるプロセスの重要性を感じた など

議長講評

三田市の重要な決定を行う大変重みのある本会議場で、これまで一生懸命準備をしてきた自らの考えを発言し、市からの答弁を受け、また、他の参加者の多様な意見にも触れるといった今日の経験は、必ず皆さんの財産となるでしょう。

普段の生活に身近なものから、市政の課題へ鋭く切り込むものまで、実に完成度の高い質問や提案に、私たちも大きな刺激を受け、三田の未来に希望を感じました。

皆さんは18歳から投票権を、25歳になれば被選挙権を得て政治への参加が可能となります。政治や社会へ積極的に参加する意識と、故郷への愛着を持って、今後大いに活躍されることを心から願っております。

(三田市議会議長 森本 政直)